

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

## 「運（福）」は自分で運んでくるもの

### よい言葉がよいことを引き寄せる



1月10日（火）、1年を締めくくる第3学期が始まりました。朝一番で清掃を実施したため、ジャージに着替えなくて、制服での清掃となりました。ある女子生徒がスカートの裾（すそ）を左手で持ちながら膝（ひざ）をついて、右手を左右に大きく動かして雑巾がけをしている場面を目にしました。「1日目から一生懸命掃除をしているこの子は、何にでも一生懸命取り組める生徒なのだろう。」と清々（すがすが）しい気分で、新しい年の学校生活をスタートすることができました。

始業式ではこんな話をしました。以下に校長式辞の内容を紹介します。

さて、新年にあたり皆さんに送りたい最初のメッセージは「自分の言葉を大切にしましょう」ということです。

昔の人たちは私たちの話す言葉、この言葉自体に魂が宿（やど）っていると信じていました。これを「言霊信仰（ことだましんこう）」と言います。言葉には魂が宿っているのです、その力が働いて、よい意味の言葉を発すればよいことが起こり、悪い意味の言葉を発すれば悪いことが起こるといふふうに信じていたのです。

正式な書初めは、正月二日に恵方（えほう）（その年の干支（えと）によって定まるよい方角）に向かっておめでたい言葉を書く伝統行事です。おめでたい言葉で「福」を呼び寄せようとするものです。二月の節分で、「福は内、鬼は外」と大きな声で叫ぶのも、「明日天気になーれ」と願をかけるのも、もとを質（た）せば、この「言霊信仰」なんです。

本当に言葉に魂が宿っているかどうかは別にして、心理学という学問の分野では、そういう関係があるということが実証されてきました。

同じ性格なのに、「わたしは、おっちょこちょいだ」と考えている人と「わたしは決断が早い」と考えている人とは、後の人の方がよさが発揮できて成功する経験も多いと言います。また、苦しい時に「もう、ダメなのかな」と考えてしまう人よりも、「ここが頑張りどころだ」と考えられる人の方がいい結果が出るということがわかっています。これがスポーツの面で応用されて、一流選手はイメージトレーニング、メンタルトレーニングに取り入れているくらいです。

悪い意味の言葉はどうでしょうか。人を傷つけ、死に追い詰めることもあることは皆さん知っていますね。相手に聞こえないように言っても、目が合ったときに雰囲気（ふんいき）で伝わるものです。しかし、一番近くではっきり響いているのは、言っているその人の耳なんです。自分の心の深い部分に悪いことを呼び寄せるといふ結果になりはしないでしょうか。

「自分の言葉を大切にしましょう」というお話でした。心の中に浮かべるときも、相手がいなくて発するときも、忘れたらまた思い出して生活すると、「福」を引き寄せられると思います。

輝かしい一年を、よい言葉でよい運（福）を呼び寄せて過ごしてまいりましょう。



## JRC委員会の活動成果

### ≡≡≡ プルタブ35kgを寄付 ≡≡≡



生徒会のJRC委員会（顧問：二瓶裕一教諭）では、年末までに全校生の協力で回収したプルタブ35kgを、12月23日（金）、須賀川市デイサービスセンターに寄付しました。

上の写真は、同委員会の前委員長 木賊（とくさ）いずみさん（3年）、新委員長 會田 翔（あいた しょう）くん（2年）です。

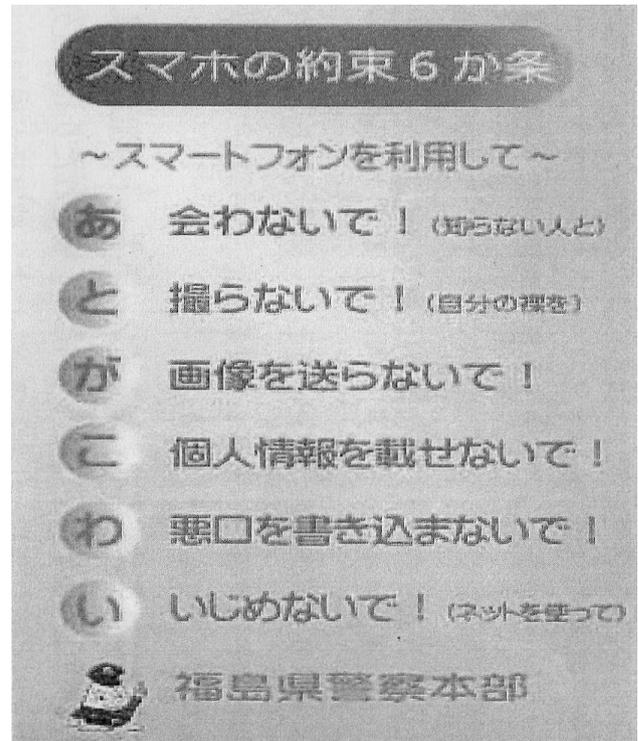
プルタブの回収に関しては、おそらくお父さん、お母さんにもたいへんお世話になったのではないかと思います。高齢者の福祉のために少しでも役立てば、たいへんうれしいですね。今後ともご協力をよろしくお願いします。

## インターネット被害防止「あとがこわい」運動

### 実行して！「スマホの約束6か条」

少年が被害者となるインターネット事犯の全国的な増加、特に児童ポルノ事犯の増加を受けて、県警察本部では、次の「スマホの約束6か条」による広報啓発活動を行っています。

ぜひ、家族間で内容を確認し、実行させてください。



（注）「児童ポルノ」の「児童」とは、18歳未満の人を指します。

## 各種表彰の記録

### 福島県アンサンブルコンテスト県南支部大会

クラリネット三重奏：金賞 吉田悠生（ゆき）② 鈴木華音（かのん）② 大賀 凜（りん）①

木管三重奏：銀賞 佐藤歩加（あゆか）② 佐藤愛望（あいみ）② 菊田茉菜（まな）②

サクソフォン四重奏：銅賞

小川未空（みく）② 五十嵐理子（りこ）① 佐藤恵美（めぐみ）① 金谷実咲（かなや・みさき）①

### 福島県造形秀作審査会

デザインや工芸の部：特選 有馬空音（くおん）① 有我和幸（わこう）① 伊丹美杜（みもり）②

絵や彫刻の部：特選 佐藤明莉（あかり）②

### 中学生人権作文コンテスト福島県大会

郡山支局長・郡山人権擁護委員協議会長奨励賞 影山 樹（いつき）③

J A 共済福島県小中学生書道コンクール 奨励賞 小林あかり①

J A 共済福島県小中学生交通安全ポスターコンクール 奨励賞 安田早希（さき）①

命の大切さを学ぶ授業作文コンクール 県民サービス課長賞 高橋愛奈（あいな）②

校内スプリングコンテスト 最優秀学級賞 1年2組 2年4組 3年3組

満点賞（個人）：1年26名 2年31名 3年35名

※○に数字は、学年です。